

令和8年度千葉市生活保護世帯等学習・生活支援事業業務委託における質問と回答

※質問の趣旨を損なわない範囲で、一部質問内容を修正しております。

質問項目1

項目：仕様書1 業務の目的（1）学習・生活支援

内容：学習・生活支援事業における令和5～7年度の高等学校等進学率、出席率、辞退率についてご教示ください。

回答

- ・学習・生活支援事業における令和5年度から令和7年度の高等学校等進学率、出席率、辞退率について、以下のとおり回答します。

	高等学校等進学率 (生活保護)	高等学校等進学率 (生活困窮)	出席率	辞退率
令和5年度	95.8%	100.0%	76.1%	10.9%
令和6年度	100.0%	100.0%	69.6%	7.6%
令和7年1月	—	—	69.0%	10.3%

質問項目2

項目：仕様書4 業務内容（1）学習支援に関する業務

内容：定員に空きが生じ、補充者がいない場合、周知活動を行う等により空きがなくなるように記載がありますが、今年度具体的にどのようなことをしていたかご教示ください。

回答

- ・保護課、委託先間で実施する定例業務報告会（月1回）の中で、定員の空き状況を共有していただいております。
- ・保護課から各区社会援護課に情報共有し、対象世帯への周知を依頼いたしました。

質問項目3

項目：仕様書4 業務内容（2）生活支援に関する業務

内容：令和6年度、令和7年度に実施したイベントの時期と内容をお示しください。

回答

- ・令和6年度、令和7年度に実施したイベントの時期と内容は以下のとおりです。

<令和6年度>

- ・レクリエーション 実施時期：6月
- ・マネーセミナー（生活自立・仕事相談センターと合同イベント）実施時期：10月
- ・キャリア教育ボードゲームを通じてチームワークについて学ぶイベント 実施時期：1月
- ・みらいワーク 実施時期：3月

<令和7年度>※1月末時点での実施状況

- ・レクリエーション 実施時期：8月
- ・マネーセミナー（生活自立・仕事相談センターと合同イベント） 実施時期：10月

質問項目4

項目：仕様書4 業務内容（2）生活支援に関する業務

内容：令和6年度、令和7年度に実施した家庭訪問や個別相談会の実施件数、また保護者に向けたイベントの実施有無についてご教授ください。

回答

- ・令和6年度、令和7年度に実施した家庭訪問や個別相談会の実施件数、また保護者に向けたイベントの実施有無について、以下の通り回答します。

<令和6年度>

- ・家庭訪問、個別相談会実施件数：0件
- ・保護者に向けたイベント実施：有（生徒と合同イベント）

<令和7年度>

- ・家庭訪問、個別相談会実施件数：1件
- ・保護者に向けたイベント実施：有（生徒と合同イベント）

質問項目5

項目：仕様書4 業務内容（3）参加申込者の募集～決定に関する業務

内容：参加者の実施会場の決定について、決定方法・優先条件等についてご教示ください。

回答

- ・参加者の実施会場につきましては、可能な限り参加申込者の希望に沿った上で、受注者側で決定をお願いします。
- ・令和7年度中に令和8年度事業の優先申込をした世帯（生活保護受給世帯に属する中学1年生から中学3年生）につきましては、優先的に決定を行います。

質問項目 6

項目：仕様書 4 業務内容（6）学習習慣の定着サポート

内容：令和 6 年度、令和 7 年度に実施した「予備日を活用した定着サポートを図る取り組み」について具体的な内容、実施時期をご教示ください。

回答

- ・令和 6 年度は実施しておりません。
- ・令和 7 年度は自習室開放を行いました。
時期につきましては、会場により異なり、6 月～3 月までの間に月 0 回～5 回実施しております。
- ・なお、こちらにつきましては実施回数（授業回数）に含まれません。

質問項目 7

項目：仕様書 4（7）生活保護受給世帯への進路選択支援業務

内容：令和 6 年度、令和 7 年度に実施した支援内容、支援実績をご教示ください。

また、（7）生活保護受給世帯への進路選択支援業務の積算上限額が 2,800,909 円（税抜）の認識でよろしいですか。

回答

- ・令和 6 年度は実施しておりません。
- ・令和 7 年度につきましては、以下のとおり回答します。
対象者数：324 名
申込者数：9 名
延べ対応件数：142 件
（支援手段別 内訳）
家庭訪問：15 件、電話対応：128 件
（支援内容別 内訳）
進路面談：143 件、情報・資料提供：4 件、制度紹介：4 件
学校見学等：0 件、自習室開放：1 件
- ・イベント、セミナーの実施時期、回数につきましては求めておりません。
- ・積算上限額につきましてはご認識の通りです。

質問項目 8

項目：仕様書 4 業務内容（8）翌年度以降に実施する本事業への周知

内容：令和 7 年度実施した具体的な内容をご教示ください。

回答

- ・令和7年度につきましては、以下のとおり実施予定です。
中学2年生：翌年度学習・生活支援の案内（授業内、授業後に声かけ）
中学3年生：進路選択支援の案内（対象世帯に個別の声かけ、電話）

質問項目9

項目：仕様書4 実施内容（9）関係機関に対する本事業の周知
内容：令和7年度に実施した具体的な内容をご教示ください。

回答

- ・各区社会援護課及び各千葉市生活自立・仕事相談センターに対し説明会を実施いたしました。

質問項目10

項目：仕様書5 実施体制
内容：令和7年度の支援体制をご教示ください。
また、オンライン授業の開催実績はありますか。

回答

- ・生徒最大3名につき、支援員1名を配置しております。
- ・また、オンライン授業の開催実績はありません。

質問項目11

項目：仕様書7 関係書類の提出
内容：実施計画の提出期限についてご教示ください。

回答

- ・具体的な提出期限は設定しておりませんが、契約締結時までにご提出をお願いいたします。

質問項目12

項目：仕様書8 災害発生時等の対応
内容：事業中止（代替開催不可）となり、実施予定回数を下回ることがあった際の対応についてご教示ください。

回答

- ・事業中止となった原因、代替策の実施可否等を踏まえて協議させていただきます。
なお、状況によっては、契約額及び契約内容等に変更が生じる可能性があります。

質問項目 1 3

項目：仕様書 9 会場における注意事項

内容：記載のある会場費は税込金額であるかご教示ください。

また、この会場費の現時点の支払い方法についてご教示ください。

回答

- ・会場費は税込みで記載しておりますが、仕様書作成時点の金額ですので、料金改定により実際とは異なる可能性があります。
- ・なお、支払い方法については以下の通りです。

会場	支払頻度	支払方法
蘇我コミュニティセンター	2か月に1回	納付書
花島コミュニティセンター	毎月	納付書
都賀コミュニティセンター	毎月	納付書
千城台コミュニティセンター	年1回(3月)	納付書
鎌取コミュニティセンター	毎回	現金
土気あすみが丘プラザ	毎回	現金
千葉市民会館	毎月	現金

※令和7年度の支払方法となりますので、令和8年度も同様とは限りません。

質問項目 1 4

項目：仕様書 1 0 業務実施における注意事項(3)個人情報保護

内容：庁舎外で個人情報を処理することがある場合とは具体的にどんなケースを想定しているかご教示ください。

回答

- ・事務所外に取得した個人情報を持ち出し、面談等の支援を行うケース等を想定しております。

質問項目 1 5

項目：仕様書 1 0 業務実施における注意事項

内容：情報セキュリティに関連する認証、及びプライバシーマーク取得は必須であるかご教示ください。

回答

- ・情報セキュリティに関連する認証、及びプライバシーマークの取得に努めていただくようお願いいたします。

質問項目 16

項目：その他

内容：令和6年度、令和7年度の支援員の延べ配置数、実施回数を会場ごとにご教示ください。

回答

- ・令和6年度、令和7年度の支援員の延べ配置数、実施回数は以下の通りです。

	会場	実施回数	令和6年度	令和7年度 (1月末時点)
平日	中央保健福祉センター	66	171	99
	蘇我コミュニティセンター	66	93	106
	花見川保健福祉センター	66	117	88
	花島コミュニティセンター	66	125	120
	稲毛保健福祉センター	66	146	118
	若葉保健福祉センター	66	213	160
	都賀コミュニティセンター	66	99	96
	千城台コミュニティセンター	66	193	98
	緑保健福祉センター	66	111	80
	鎌取コミュニティセンター	66	86	84
	土気あすみが丘プラザ	66	69	64
美浜保健福祉センター	66	144	104	
土曜日	蘇我コミュニティセンター (R6)	34	60	32
	千葉市民会館 (R7)			
	稲毛保健福祉センター	34	53	56
	合計	860	1680	1305

質問項目 17

項目：その他

内容：令和6、7年度の本事業の受注額をご教示ください。

回答

- ・令和6年度：79,835,888円
- ・令和7年度：79,293,302円

質問項目 18

項目：その他

内容：令和6年度、令和7年度の対象者数、申込者数、参加者数、延べ参加者数、辞退者数について、

会場ごと、学年別の状況をご教示ください。

回答

【対象者数】

- ・令和6年度：約1,500名
- ・令和7年度：約1,650名

※なお、会場ごとの対象者数につきましては、計上困難ですので、総数での回答とさせていただきます。

【令和6年度】

コース	会場	申込人数			参加者決定数			延べ参加人数			辞退者数		
		全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生
平日	中央保健福祉センター	33	17	16	32	17	15	1,319	714	605	1	1	0
	蘇我コミュニティセンター	20	13	7	20	13	7	636	416	220	1	0	1
	花見川保健福祉センター	26	17	9	26	17	9	1,163	766	397	3	2	1
	花島コミュニティセンター	25	15	10	25	15	10	1,107	642	465	2	1	1
	稲毛保健福祉センター	24	13	11	25	13	12	920	403	517	1	1	0
	若葉保健福祉センター	40	20	20	40	20	20	1,464	644	820	7	4	3
	都賀コミュニティセンター	18	10	8	16	10	6	634	388	246	1	0	1
	千城台コミュニティセンター	35	20	15	35	20	15	1,660	977	683	2	1	1
	緑保健福祉センター	23	16	7	23	16	7	1,002	667	335	0	0	0
	鎌取コミュニティセンター	18	7	11	17	7	10	787	424	363	0	0	0
	土気あすみが丘プラザ	11	4	7	11	4	7	539	142	397	1	1	0
美浜保健福祉センター	31	15	16	31	15	16	1,237	622	615	5	1	4	
土曜日	蘇我コミュニティセンター	12	6	6	12	6	6	283	119	164	0	0	0
	稲毛保健福祉センター	12	6	6	11	6	5	259	117	142	1	1	0
	合計	328	179	149	324	179	145	13,010	7,041	5,969	25	13	12

【令和7年度】

コース	会場	申込人数			参加者決定数			延べ参加人数			辞退者数		
		全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生
平日	中央保健福祉センター	26	17	9	26	17	9	846	569	277	2	2	0
	蘇我コミュニティセンター	26	16	10	26	16	10	786	564	222	5	1	4
	花見川保健福祉センター	21	13	8	21	13	8	784	481	303	0	0	0
	花島コミュニティセンター	28	17	11	28	17	11	1,129	692	437	2	2	0
	稲毛保健福祉センター	33	14	19	33	14	19	1,098	459	639	0	0	0
	若葉保健福祉センター	37	15	22	37	15	22	1,291	505	786	6	4	2
	都賀コミュニティセンター	19	11	8	19	11	8	680	472	208	3	1	2
	千城台コミュニティセンター	26	16	10	26	16	10	974	546	428	2	1	1
	緑保健福祉センター	20	9	11	20	9	11	668	295	373	1	0	1
	鎌取コミュニティセンター	21	10	11	20	10	10	694	348	346	5	2	3
	土気あすみが丘プラザ	13	10	3	13	10	3	606	464	142	0	0	0
美浜保健福祉センター	32	19	13	31	18	13	1,105	695	410	2	0	2	
土曜日	千葉市民会館	7	3	4	7	3	4	137	39	98	1	1	0
	稲毛保健福祉センター	16	11	5	16	11	5	243	139	104	5	4	1
	合計	325	181	144	323	180	143	11,041	6,268	4,773	34	18	16

質問項目19

項目：その他

内容：令和6年度、令和7年度の本事業における成果と課題をお示しください。

回答

- ・学習支援の出席率の目標値を85%以上としていますが、過去3年の実績をみると、出席率が70%台前後で推移しています。健康面や家庭事情等の課題を抱える場合もありますが、出席率の

低い子どもに対して出席を促す支援が大切だと感じています。

- ・生活保護受給世帯の申請率は20%台と低調であり、課題であると認識しております。
- ・令和7年度より、生活保護世帯に対して進路選択支援を開始しましたが、申込者が少ないことから周知方法及び支援方法を模索していく必要があります。
- ・当事業について、対象世帯だけでなくCWや自立相談支援機関等の関係機関への事業理解を深める必要があることから、課題であると認識しております。
- ・令和6年度において、高校等進学率100%を達成したことについて、本事業における成果と考えております。